

広報たしる

No. 316
昭和55年1月号

田代町総務課編集

1,600部発行



元気な子供たち（田代小）

新春に

寄せて

人々よ新春のかがやきのもと
人とつどい、人とかたろう
未来のゆめを、理想の里を
愛を語り、よろこびをわかち
協同の力を、感謝の心に
大きなかてをもとめ
しあわせな朝を迎えよう
心が変われば社会よがかわる

助役 松田 進

巡回行政相談

○日時 昭和55年1月18日
（金曜）午前10時～
○場所 老人福祉センター

明るく・豊かな・町づくり

町長
猪鹿倉 義則



町民の皆様、明けましておめでとうございます。

心から新春をお祝い申しあげますと共に、町民皆様の御健康と御多幸をお祈りいたします。

昭和五十四年をふりかえってみますと、一口に言っても多事多忙な一年であったと言えるのではないのでしょうか。五十三年も台風や長雨により一部に被害はありましたが、昨年は強力な台風十六号と二十号の大型台風が二回も県本土に接近し、しかも台風十六号は二時間の降雨量一四四ミリという記録的な雨量で十六号台風の通算降雨量四四七ミリ、二十号台風の降雨量三三三ミリ、二回分の降雨量は七七八ミリに達し、田代町の年間降

雨量の四分の一が二度の台風で降り、農作物を始め各種施設に多くの被害がありました。特に川原地区を主として町内各地に多量の冠水があり、これらの復旧には多額の経費と労力を要する事は申しあげるまでもありません。又公共施設でも町道、農道、林道、河川、用水路等の被害箇所は八十件を越えており、これらの災害復旧も急がねばなりません。ブローラーの水死も一〇、〇〇〇羽にのぼりました。

が、幸にして人命、家畜、住家等に大きな被害がなかった事は不幸中の幸と言えましょう。一方五十四年も国の政策により、米の生産調整が行われ、町内の水田二九二・五haのうち、四五haの転作をお願いしなければなりません。又折角収穫された、おいしい田代米も一部、カメムシ等の被害で良質米は約五十%という成績は一部台風の影響ともいえましょう。

然しながら暗い面ばかりでなく、町の基幹作目である緑茶、たばこ、肉用牛、ブローラー等の作目が順調に伸びてきておりますことは、農家にとっても喜ばしい限りです。

特に最近牛の価格が安定してきた事は畜産農家にとって朗報といえましょう。

あらゆる機会に申しあげておりますように田代町は依然として過疎の町であります。

このような中で如何にして「明るく・豊かな町づくり」をするか、人口減を防ぐか、検討討論し、少い町予算の中で大半の予算を農林業育成振興のために費やし、新農構、農村基盤整備事業、山村振興事業、団体営並びに県単土地改良事業等を主に農用地の基盤整備と農林道の整備、集落内の環境整備等に努めて参りましたが、幸にして町民の理解と協力によりまして予定通りの事業が遂行できます事を心からお礼を申しあげます。

より盛大に実施され、田代町の成績も昨年を上廻る立派な成績をあげることができました。其の他町民大運動会、男子年令別地区別ソフト大会、並びに婦人バレー大会等、かずかずのスポーツ大会が日夜を問わず行われました。開発センターでは文化芸術面の数多くのグループの研修が頻りに行われております事も衆知の通りであります。

又長い間多くの町民の方々の要望でありました農村電話から一般単独電話への切替や新規申込みの方の早期取付け等も電々公社の御協力によりまして目下工事中であります。本年始めには地集、一般を含めて全部解決する予定です。これで昨年設置した町の広報無線施設とあわせて町内の通信、情報面も更に充実されるものと考えます。

最後に私事で誠に恐縮に存じますが、昨年十二月行われました、田代町長選挙に立候補いたしましたところ、町民の支持を得まして再び町長として務める事になりました。もとより浅学非才の身ではありますが、誠心誠意をもって職責を全ういたします。

たいと考えます。

八十年代は地方の時代と言われております。以前として過疎化の中で今後の農山村の前途は厳しいものがあります。

かねてより申しあげております様に、海もたない、鉄道も通っていない様な土地には大きな工場の立地を望む事も無理でしょう。

残された問題は農林業の振興発展と併せて地域産業、商工業の育成強化だと考えます。

健康で明るく豊かな町づくりを口で言うのは易く、行なう事は非常にむづかしいものです。

然しながら、私達町民はこれに向って進み態勢づくりをしなればなりません。

過去四年間町民皆様方の御協力と御理解並びに町議会を始め各関係団体の御指導と御鞭撻により大過なく町政を進める事ができました事に、心から感謝申しあげ、更に今後四年間、何卒心からなる御支援と御指導をお願い申しあげまして、年頭の御挨拶といたします。

消防出初式
一月五日午前十時
田代小学校庭

小組合連協会長
臼井 利行



輝しい新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

昨年度は、皆様方の御指導、御協力によりまして、小組合連協長の職責を大過なく過さして頂きまして厚くお礼を申し上げます。

昨年は、天候不順の年により九月の大雨、台風十六号、二十号と相次ぐ水害等に見舞われ、町民の皆様方も本当に大変な年でありました。

しかし、勇気を出され、町民運動会、小組合ソフト等も無事終り、結果的にはそれぞれ良かったと思う次第です。

また、町当局におかれては、町民の産業文化の発展のため開発センターの建設、広報無線の設置などの事業が行われ、本当に飛躍の年でありました。

ことに広報無線につきましては、朝夕文化的な報道がなされ、

町民の皆様はもとより、私共小組合長の仕事には大変便利に利用出来ました。今後一層の期待をもつ次第です。

なお、農業に於きましては、私が申すまでもなく非常にむづかしい社会環境ではありますが、農家の生活向上をはかるためには、現在いろいろな会合等で話の出ます村づくり運動を盛り上げ各集落ごとに実行できてこそ若い後継者の皆さん方が一人でも多く町民となり、農業に従事出来る事を考えただけでも前途が開けた思いが致します。

婦人会長

松田 イツ子



田代町内の皆様、明けましておめでとうございます。佳き新春をお迎えの事からお慶び申し上げます。私共町婦人会は皆様の心からの御協力と長い歴

史と伝統の力に支えられましてどうやら昭和五十四年を乗り切る事が出来た事に改めて感謝申し上げます。

又私共の待望しておりました開発センター（公民館）も立派に完成し、私共婦人会のよりどころとして集会や研修に、又スポーツにと広く利用させて頂きます事を心から幸に存じ有難い気持ちで一杯でございます。しかしながら振り返って見ますと去る四月不馴れな者ばかりで第一回の定例会を開き不安のみでしたが、皆様方の暖かい御支援と町当局の御指導とお力添えによりながら、毎月の研修会や生活学習又諸行事への参加等九ヶ月が速足ですぎてしまいました。

各部落会長が各自家庭で管理し、花を咲かせ中央グラウンド一杯に花鉢を飾った郡民体育大会恵まれぬ世界の子供達へ愛の手をとつた代々の募金運動又青少年に夢と希望を育む運動としての地区別座談会、省エネルギー学習で石油基地発電所の見学又資源を大切にとのポロや古紙の回収等々致しました。

いたらぬ点多々ございますが、私共婦人会は激動しつつある社会情勢の中に少しでも「明るく豊かなふるさとづくり」にお役に立てばと念じ未加入婦人

昭和54年の主な出来事

1. 川南地区及び芝原地区圃場整備事業着々と進捗中
2. 富田地区開発公社立売り事業により茶団地の造成
3. 県優良茶指定出荷共進会に於いて躍進賞を受く
4. 後期過疎対策事業により、道路網が整備される。

産業関係

の方々にも是非御入会をお願い致します。

でございますが、新年のごあいさつに替えさせて頂きます。



整備中の芝原地区

正直なところ二十歳になった実感はぜんぜんないが、十九歳の延長ではだめだ、ここで区切りをつけて新たに出発したいと思っています。

この二十年間をふり返って、小さい頃の思い出として小学校二年の時、腕の骨を折り母と毎日のように病院に行った思い出



宮園 光 則

中学校時代は、陸上部で一生懸命やったが、高校時代は部にも入らず専念できるものがなかった。少し自分にあまっていたような気がする。それで難かしい問題に打ち当たると、すぐに他人に頼ろうとする癖がある。

二十歳になると自分で解決しなければならぬ事が多くなり、社会的責任も大きくなり、なんとなく不安です。

それが昨年、消防に勤務してこの仕事なら自分を打ち込めると思うし、また誇りに思っている。それは、地域住民のため、少しでも役にたてたら幸いと思いい、一日でも早く一人前になる

私はつい最近、二十歳の誕生日を迎えまして、大人の仲間入りをすることができました。つ



辺志切 しおり



畜産婦人部研修会

去る十二月八日、開発センター裏庭と福祉センターで、町内畜産婦人部約二百五十名が参加して、「牛の管理と見方」(郡畜連の久留技師)と、「今後の肉用牛の飼育について」(種畜管理センターの上西先生)の研修会を行いました。

両先生のユーモアと、実感あふれる研修に、婦人の方々も、「うん、なるほどな」とうなづいておられました。

肉づきのよい牛を!!

この間まで十代を楽しんでいたが、二十歳になると当然のことながら今までと同じようにはいかないものです。これまでは違い、ある程度自由の身にはなります。

それだからこそ自分の行動、発言には必ず責任と義務というものがついてきます。私達はその責任と義務を果さなければなりません。

私達ひとりひとりが未来へ向かって果立っていくには、ある時には挫折を経なければなりません。

今日まで、私を育て見守って下さった両親、地域社会の皆様へ深く感謝し、今後の指導をよろしくお願い致します。

せん。しかし、それに耐える心を養っていききたいのです。また、手とり早く飛びつくだけ若さではないと思います。これからは自分自身のことだけでなく、まわりのことも考えて行動すべきだと思えます。そして一日一日を精一杯生きることにします。

明日へはばたけ若者たち

成人おめでとう

昭和五十五年の新しい年が明けました。一九八〇年代の最初のステップ——新しい時代に向けての「船出」です。

二十歳になったみなさんも、今年は一人前のおとなとして、一人の社会人としての「船出」の年です。

青年は、だれもが無数の可能性を秘め、それに挑む勇気を持っている。新しい時代を担う活力として、着実に、たくましく育ってほしい——成人式には、そうした社会の期待がこめられているのです。

そうした期待に、成人されたみなさんはどう応えていくか、新しい「船出」にあたって考えてみたいものがある。

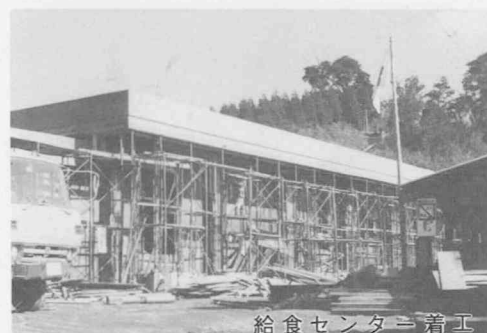
福祉関係



(川原保育園)

1. 川原保育園を福祉法人(見真福祉会)に民営移譲する。
2. 町主催による合同金婚式が行われる。

学校教育関係



給食センター着工

1. 学校関係各種表彰を受く。
 - イ、肝属地区高校剣道大会で田代高校女子剣道部優勝
 - ロ、優良少年少女団体として鶴園子供会が県教育委員会より受賞
 - ハ、大原小、中PTAが日本PTA全国協議会より表彰を受く。
2. 待望の田代町給食センター着工

社会教育、社会体育関係



肝属地区芸術祭

人事関係

1. 猪鹿倉町長二期目無投票再選
2. 町議会議員改選 議長に右田始氏、副議長に舞原一己氏を選任
3. 収入役に南園貢氏再選
4. 名ヶ迫広教育委員長辞任に伴い川前義秋氏を教育委員に新任する。



広報無線

その他

1. 台風16号昭和13年以来の集中豪雨で多額の被害を受ける。
2. 広報無線の開局
3. 消防自動車更新川原分団に配置

食べすぎと運動不足

お正月の食生活

要注意

お正月休みが終わると、体の不調を訴える人が意外に多いようです。

忘年会などでの暴飲暴食につづいて、おせち料理などこちそうの食べすぎ、つい一度を越してしまうお酒……このような不規則な食生活に運動不足が加われば、体調を崩さない方が不思議なくらいです。

バランスのとれた食生活と適度な運動で体調を維持し、最良のコンディションで新しい年のスタートを切りたいものです。

世界農林業センサスの実施にご協力を

今年二月一日を期して、一九八〇年世界農林業センサスが実施されます。この調査は、わが国の農林業の最も基本的な統計調査です。特にここ数年間、農林業・農山村の動きは、未だかつてないほどの激しいものとなっています。米の生産調整に伴う農業構造の変化、農業労働力の流出、広範囲にわたる農用地の壊廃と地価の高騰、工業化、都市化に伴う農村社会の変ばう

など、このような変動の現実を具体的な数字としての確には握しようというのが今回のセンサスです。このセンサス、大きく農業調査と林業調査に分けられています。

▽農業調査「農家調査」と「農家以外の事業体調査」とに分け土地の利用状況、労働力、農用機械及び世帯の家族状況などについて面接聞き取り調査を行う。

▽林業調査「林家調査」と、「林家以外の林業事業体調査」とに分け、保有山林面積、林業労働、林産物販売状況などについて面接聞き取り調査を行う。

この調査結果は、国、県、市町村をはじめ、各方面で農林業の振興あるいは地域発展計画などの基礎資料として広く活用されます。このように重要な意義をもつ今回のセンサスを成功させるため、調査に関係される皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この調査の内容は統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することは絶対にありませんので安心してありのままをお答え下さるようお願いいたします。

人口のうごき

基本台帳人口	12月1日現在
住民基本台帳人口	
男	2,239人
女	2,458
計	4,692
世帯数	1,484戸

母と子の会話

「泣き虫」といわれる子供は自分の不満や欲求を満たそうとして、泣くという手段に訴える場合が多いようです。

つまり、泣くことによって自分の思い通りにする、自己主張を押し通そうとするのです。

これに対してお母さんをはじめ周囲は、泣くのがうるさく、また面倒なことであって、子供の要求をそのまま通してしまったりするのである。

このような子供の「欲求解決」の方法は、必ずしもその場の

泣き虫

自己主張の一つだが…

論理に合致した方法でない場合が多いところに、この泣き虫のしつけの問題が起きてくるのです。

泣き虫の子供には、いわゆる内弁けのタイプが多く、一歩外に出ればそうでもないが、家の中では泣いたり暴れたりして自分の主張をガンコに通そうとします。

こうした欲求実現のパターン

教育だより

田代小学校

仲よし学級について

田代小に、仲よし学級（特殊学級）があることは、ご存知のことと思います。

仲よし学級とはどういう学級でしょうか。それには普通学級というものが、どのようにして編成されているかを考える必要があります。

人は生まれて一定の年限がたてば、誰でも頭もからだも、心も同じ位のところまで発達していくものである。という考え方がたつて、六歳になると一年生に……と普通学級をつくっていきます。ところが、いろんな障害によって心や、からだの発育がおくれている子どもを、わたしたちのまわりでも見かけます。

こうした子どもたちが普通に発育した子どもと、同じ学級で学習や生活をしているのを見ると、少し無理をしているのではないかと、思われることがあります。ただ同じ年令だからと普通学級にはいっても、まわりの友達にすらすらすらできるのに、自分ではできないという場面がしばしばできて、自信をなくしす



仲よし学級入級 児童作品の一部

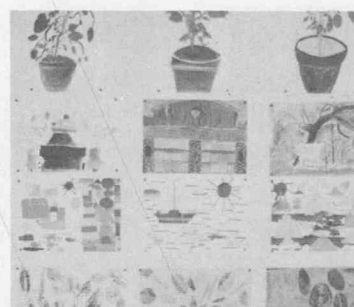
ついで、じつとお地蔵さまのようになまっている子になったり反対にやぶれかぶれになってあばれる子になったりします。

このままにしておくと、文字や計算などの基礎的な学力さえもつかないばかりか、友達からも仲間はずれにあり、非社会的反社会的な人間になり、おとなになっても社会に適応できず職を転々としなければなりません。教師や親がむきになって、つめこもうとすればするほど、逆効果になります。

このような子どもを育てるには、その子にあった学習の場、生活の場が必要になります。

これが仲よし学級です。仲よし学級は、人数が少なくその子のわからないところから学習をすすめていますので、読み書き計算などもわかるようになって、それが自信となり意欲となつて、さらに向上しています。そのため気持ちが安定し明るくのびのびとなつてきます。しかし、これが、せいまい「仲よし」だけあってはなりません。そのためいろんな機会や、音楽、体育、家庭などの時間には普通学級にかえし、集団の中にとけこみ将来社会の一員として生活できるように配慮しています。

特殊学級という、とかくかたすみの特異な教育なのだと思われがちです。親の方も自分の子どもは特殊学級へやるまでもなからう。もう少し大きくなればなんとかなる。とかできることなら普通学級で卒業させてやりたいと願ひ、また普通学級担任も、なんとか自分の熱意で救いたいと思う気持ちもあるでしょう。しかし特殊学級の教育は、普通の小中学校教育のなかで、その一環としておこなわれるものです。したがって教育目標の根本精神は普通学級も特殊学級もおなじことです。ただ具体的な指導目標や指導内容、指導方法についてはそれなりの特色が



仲よし学級の教室の一部

あります。

- ① のびのびと明るく社会性があり、人と協力しようとする態度がみられるようになる。
- ② 自由に発言するようになり、普通学級でみせなかった自分の力をじゅうぶん発揮するようになる。
- ③ 劣等感がなくなり、自信もつて情緒が安定してきます。
- ④ 性格のかたまりが、正され生活意欲が高まります。
- ⑤ 自主的になり、積極的に最後まで仕事をするようになります。
- ⑥ ある分野ではすばらしい個性の発揮がみられること

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

もあります。

⑦ 自立のために必要な知識・技能・態度がその子なりに向上します。

普通学級の片すみに、ひっそりとしている子どもたちもいますが将来親がいなくなつて、子どもひとりになったときどうなるでしょう。それこそかわいそうな子どもだといわなければなりません。

特殊学級で本人の能力にあった教育を受けさせるのは、本人が自分なりにへりつぱにはたけるV/A幸福になれるV/A世のため人のために役立つことができるV/Aという、人として自立した生活が営めるようになるためです。

まだこの子たちへの指導のつとめ、学級の実態についてもかきたいですが、紙面の都合で割愛します。

最後にこの教育は、人間が人間をだいにすることが出発点になります。だから社会の人びとが、弱い人、気の毒な人への単なる同情心からでなく、真に障害を持つ子どもたちについて理解し、人格を認め、対等な気持で接するようになることが、特殊教育推進の大きな力になります。

新年にあたって

教育長 今和泉 一郎

みなさん、明けましておめでとうございます。

昨年は、私たちが久しく待ち望んでいた開発センター（公民館）が完成し、社会教育の中心的拠点としての機能が発揮されだしたことであります。

又、郡民体育大会や、肝属地区芸術祭も本町で開催し、町外の人々にも直接間接に田代を知っていただく機会が与えられ、私たちのふるさとづくりに多くの示唆をいただいた点、有難く思います。

一方、青少年の健全育成をモットーにする田代町青少年問題協議会が発足しました。

これは、青少年問題をあらゆる角度から検討し、田代町の青少年の健全育成の基本を樹立する機関であり、今後、この問題にかかわる機関、団体の一層の充実を怠るものであります。

近年、町内において、子供達の非行が減少してきていることは、町民あげての関心と、学校家庭、地域の三位一体になった積極的活動の証左だと考えます。いよいよ八十年代にはいりましたが、学校教育も小学校においては、新教育課程を実施する

年でありまして、中学校においては、本年限りの移行措置を経て、来年から実施されるという一大転換期でもあります。

激しくゆれ動く時代とともに、教育はどうしなければならぬか、という国民的課題にどう答えていくかが学校教育に課せられているように思います。

元来、田代町の子供像の中で「人にいわれないとやろうとしない」という、消極的、他律的態度が指摘されてきました。

各学校では、このことに着目されて、どうすれば自主的に、意欲的に学習に取り組めるよう

ホーキ・ぞうきんを寄贈〈麓下永寿会〉



ホーキ・ぞうきんを受取る田代小児童

になるのか、を研究し実践しつつあると思いますが、今年はさらにその成果を期待したいと思っています。そのために、田代町の地域性をふまえて、子供とともに学ぶ、積極的姿勢が子をもつ親、子をもつ教師はもちろんのこと、町民あげての環境づくりを眼を注いでいかなければならないと考えます。

それに子供達の体位、体力の向上についてふれておきたいと思います。

年毎に子供達の体位、体力とも伸びつつありますが、未だ県平均に及ばないのが現状であります。これまで、中学校だけが完全給食実施も取り残されておりましたが、ようやくみなさん

十一月二十日、麓下永寿会（鶴田市太郎会長）の皆さんから田代小学校へ竹ホーキ三十本、ぞうきん五十二枚の寄贈があった。

「私たち老人のささやかな気持ちです。庭をきれいにしたり、部屋のそうじをしたりして、心と体を丈夫にしてください。」との一文もええられていた。

さっそく児童の代表が受け取り、校内美化に役立てることにしました。

の希望を叶えるべく、昨年からの工事にかかり、本年四月から完全実施できるように努力しているところであります。これによって、小中学校一貫した給食指導態勢をはかり、これまで以上の健康づくり、体力づくりにまい進したい所存であります。

町民の深いご理解のもとに、緊密な相互連携によって、楽しい学校づくりが一層進められ、ひとりひとりの子供達が、自己の能力を最大に発揮し、自らの人生を、たくましく、より豊かに歩みつつけていけるように念願しつつご挨拶いたします。

小組合対抗バレー 大原地区ソフトボール

十一月二十三日大原地区成人ソフトボール大会が、二十九日三十日の両日にわたって町内小組合対抗バレーボール大会が開催された。

結果は次のとおりでした。

△小組合対抗バレーボール大会▽

準決勝戦

鶴園 2-10 西大原
鶴住宅 2-11 中村

決勝戦

鶴住宅 2-10 鶴園
△大原地区成人ソフトボール▽

準決勝
新田 26-13 盤山
住宅 6-2 西大原
決勝戦
新田 9-2 大原住宅

昭和54年12月15日
昭和55年1月14日
「親切運動 推進月間」です

サンライフ運動の一環として実施されます。ご協力ください。

おもな行事予定

1・3	成人式
1・8	各学校始業式
1・24	郷土史編さん委員会
1・31	町内教育研究会
2・上	郡青年駅伝大会
2・20	社会教育委員会
2・21	教育広報編集委員会
2・24	オリエンテーリング大会
3・4	文化財保護委員会
3・6	文化協会理事会
3・7	町婦人大会
3・13	公立高校入試
3・16	ファミリーゲートボール大会
3・24	町子連理事会 高校交
3・25	母連絡会 各学校修了式

交通事故に気をつけよう!!
年末年始は人や車の動きが激しくなり
交通量も増加します。特に注意を!!